

塩谷都市医師会だより

Contents

第63回定時総会
平成22年度第1回役員会報告
シリーズ「塩谷医療史」-5-

社団法人 塩谷都市医師会
広報委員会

〒329-1312
さくら市桜野1319番地3
さくら市氏家保健センター内
TEL 028(682)3518
FAX 028(682)5760

社団法人塩谷都市医師会第63回定時総会



平成22年4月10日(土)午後5時30分から、さくら市氏家保健センター集団指導室において開催されました。出席者26名、委任状出席者51名の合計77名により定足数に達し定時総会が成立しました。

議長の大草尚先生のもと無事議事進行が行われ、全議案承認されました。

第1号議案 平成21年度塩谷都市医師会事業報告並びに収支決算の承認を求める件

尾形会長より医学講座、産業医研修会、介護保険研修会、クリティカルパス事業、市民公開講座、地域医療シンポジウム、県北3郡市医師会懇談会などの事業報告がなされました。

決算については、西会計担当理事の説明後、越井監事から帳簿証票はすべて適正であるとの報告があり、全会一致で承認されました。

第2号議案 平成22年度塩谷都市医師会事業計画並びに収支予算の議決を求める件

尾形会長から、市民公開講座、リレーコラム、健康かわら版などの広報活動や地域医療連携の強化などの計画が示されました。

西会計担当理事から予算案についての説明がありました。前年度予算と対比し、科目ごとの増減理由が述べられ、全会一致で承認されました。

第3号議案 会館建設準備金積立取崩の承認を求める件

西会計担当理事から、会費を値上げすることなく事業を継続するために、本年度は450万円必要であるとの説明があり、賛成多数で承認されました。

第4号議案 役員改選に関する件

村井信之選挙管理委員長から、会長候補届出は1名で定数を超えていないため山田聡先生の無投票当選が告げられました。村井委員長から当選証書が手渡されました。

その他の役員についても全て定員以内であり、無投票当選が確定しました。



塩谷都市医師会ホームページ/メール

URL <http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/>
メール shioya@tochigi-med.or.jp

広報委員会編集部

岡 一雄 r2d2@msh.biglobe.ne.jp
尾形新一郎 ogata@o-ga-ta.or.jp

医師会事務局

桑川 shioya@triton.ocn.ne.jp
坂和 sakawa@e-shioya.jp

平成 22・23 年度塩谷都市医師会役員

会 長	山田 聰
副会長	尾形新一郎(主席) 岡 一雄(次席)
理 事	池田 斉(会計担当) 後藤 哲郎 軽部 敏昭 佐藤 勇人 佐野 哲郎 大草 尚 半田 教 本間 玄規 谷口 雄一 越井 健司 大和田信雄 手塚 幹雄(病院代表)
監 事	小島 崇 江口 光興
総務会	山田 聰 尾形新一郎 岡 一雄 池田 斉

第 5 号議案 報告事項

糸川事務長より、日本医師会及び県医師会の会費の高齢者減免が 83 歳に引き上げられたこと、塩谷都市医師会については従来どおり 80 歳から高齢者減免とすることが報告されました。

その後山田新会長から就任挨拶があり新体制のスタートとなりました。

総会終了後、昨年に引き続きNIWAにて懇親会が開かれ、和やかな情報交換の場となりました。(文責：編集部)

平成 22 年度第 1 回役員会報告



5 月 10 日(月)午後 6 時 30 分より氏家保健センター集団指導室において開催された。出席者：山田・尾形新・岡・池田・後藤 軽部・佐野・大草・半田・本間・谷口・越井 大和田・手塚・江口・阿久津博・森島

議題 会長方針

山田新会長は「救急医療の構築が課題の塩谷地区では、まず医療の実状を十分に把握し、近隣の医療圏についても知ることが重要となる。そのために塩谷地区内のそれぞれの医療機関がどんな医療が可能なのかなどの医療情報を共有し、互いに協力し、サポートできる状況を作りたい。また、医療制度や医療過誤などの大きな問題についても都市医師会で話し合い、外に向けて発言していく医師会にしたい」という方針を述べた。

議題 平成 22 年度医師会スケジュール

年間の都市医師会の予定は後述の表参照

議題 各種委員会の方針

■保険委員会(大和田委員長)

納得のいかない査定について連絡してほしい。

■(学術)研修委員会(植木委員長)

日医新生涯教育制度の変更についての説明と今年度の講習会について報告があった。

■(産業医)研修委員会(森島委員長)

政府の事業仕分け作業のため、地域産業保健センターの事業継続がどうなるか不透明になっているなどの状況が阿久津博県医師会常任理事から説明された。

■介護保険委員会(仲嶋委員長)

後藤前委員長から主治医意見書がよく書かれていない場合があり、特に病院勤務医の意見書が問題となっている現状について話があり、今年度主治医研修会の開催を予定。

■感染症委員会(軽部委員長)

ヒブワクチン、小児の肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンなどの新しいワクチンが登場している。

■裁定委員会(本間委員長)

ここ数年裁定委員会が関わるようなトラブルは生じていない。

■医師会史委員会（岡委員長）

医師会史続編（新生医師会以前の歴史）の資料が順調に集まってきている。

■広報委員会（岡委員長）

今年度も会員向けに年6回の医師会だよりの発行、地域住民向けに年4回の健康かわら版の発行、2市2町の広報誌に月1回養生のススメの連載を行う。

■選挙委員会（植木委員長）

今年度は活動なし。

■医療機能分化委員会（池田委員長）

病院と診療所の縦の連携だけでなく、診療所間の横のチームプレーを取れるようにしたい。今年度も介護職と症例検討会を開催する予定。

■社会活動委員会（森島委員長）

10月3日（日）にさくら市氏家公民館で市民公開講座を開催する。本年度のテーマは在宅医療で講師は在宅ホスピスを行っている渡辺邦彦先生。

議題 子宮頸がんワクチンについて

大草理事（さくら市医師団）から、さくら市で小学6年生女子を対象に全額補助、中学生女子を対象に半額補助で子宮頸がんワクチン接種が行われる予定で準備が進んでいる話があった。7月14日には保護者と市民に鈴木教授（自治医大産婦人科教室）の講演が行われる予定。

また、塩谷都市医師会学術研修として、8月3日に会員向けに鈴木教授の講演会が行われる。

議題 その他

山田会長からの要望で、各役員の本年度の抱負などについて一言ずつ発言してもらった。

送別会報告

平成22年4月26日東武ホテルグランデ竹園にて尾形前会長、阿久津前副会長の県医師会での活躍を祈念して送別会が開催されました。岡副会長の乾杯で開宴となり、参加した25名が1人ずつ挨拶を述べました。エピソードなども披露され、会場は終始楽しい雰囲気が広がりました。

尾形先生、阿久津先生長い間お疲れさまでした。



平成22年度都市医師会行事予定

□平成22年

- 4月10日（土） 第63回定時総会
- 4月19日（月） 第1回総務会
- 4月26日（月） 尾形前会長、阿久津前副会長送別会
- 5月10日（月） 第1回役員会
- 7月12日（月） 第2回総務会
- 7月26日（月） 第2回役員会
- 7月30日（金） 納涼会（矢板市医師団）
- 10月3日（日） 市民公開講座（さくら市）
- 11月29日（月） 第3回総務会
- 12月6日（月） 第3回役員会

□平成23年

- 1月21日（金） 新年会（高根沢町）
- 2月21日（月） 第4回総務会
- 3月7日（月） 第5回役員会
- 4月9日（土） 第64回総会

